



女性団員誕生

南国市消防団(団員三百三十四人)に、市では初めての女性団員十人が採用され、十二月二十三日、市消防本部で結団式が行われました。

県内では十番目のことで、出席した約四十人の前で、紫の制服に身を包んだ女性団員は一人ひとり竹内武男団長から辞令を受け取りました。このあと、団員を代表して、近田佑子さんが「誠実に職務を執行します」と宣誓しました。

女性団員は、市民への防火指導、消防広報活動など消防団の行う各種行事に参加し、男性団員と力を合わせて、市民の防災活動に当たります。

はちまきしめて  
走り初め

南国市体育会(市体育協会などの主催)が一月四日、市庁舎前で開かれ、大勢の市民らに参加しました。

午前九時三十分、市庁舎前に集まった、スポーツウエア姿の中学生からお年寄りまでの約三百人の参加者は、健康文化都市シンボルマーク入りのはちまきを締め、入念な準備体操の後、市長を先頭に出発。途中、日吉神社でこの一年の健康を祈願し、元氣一杯のかけ声とともに後免町商店街を駆け抜けました。



土曜日で健康に

健康文化都市南国を意識づけ、健康のために何かできることをと、土曜市組合が初市となる一月七日から、ラジオ体操を始めました。組合員らは会場中央に集まり体操で気を引き締めたあと、初売りに臨みました。

土曜市組合は昭和四十四年の開設で、現在、四十五業者が青果、海産物、雑貨などを販売し市民に親しまれています。同組合では、これからお客さんや近隣の方にも呼びかけ、この体操を広めていきたいとのこと。市民のみならず、健康のためぜひ参加してみてもいい。



白銀のプレゼント

一月十八日、岩井保育所に雪のプレゼントがありました。これはご家族の方三人が棍ヶ森から運んだもので、突然の贈り物に園児たちは大喜び。雪を見るのが初めての子どもも「きれい。さわると冷たい」とさっそく、雪合戦をして遊んでいました。

所長の松岡恵美子先生は「今年で三回目なんです。ご家族の方々が保育所をすごく大事にしてくれて、いろんなことに協力してくれる。小さな保育所のいいところですね」と感謝し通しました。



障害者とボランティアの集い



▲12月19日、市社会福祉センターを会場に約100人が参加し、障害者とボランティアの集いが開催されました。障害者の社会参加と平等が目的で、自らも事故で障害を負われた国府泰博専員、久武雅之さんの「障害者施設のボランティア」についての講演、体験発表などがありました。



▼12月22日、大町市長ふんするサンタクロースが土佐希望の家、南海学園を訪問。施設に対して寄付金を、入所者にはお菓子を手渡しました。

これは、市内量販店からリサイクル運動の収益金を福祉に役立てて、市に寄贈されたお金をあてたもので、入所者らはうれしそうにプレゼントを受け取っていました。



▶11月21日、市保健福祉センターでリハビリ教室のもちつき大会が、教室生とその家族らの参加で行われました。もちを丸め終えると1年の無事を祝い合い忘年会となりました。



▲元旦恒例の瓶岩マラソン大会(瓶岩体育会などの主催)が1月1日、開かれました。

開会式では、岡南之大会長が「県内でも歴史ある大会となりました。県を代表するランナーに育って欲しい」とあいさつ。午前11時、県内外から10部門に参加した142人のランナーが一斉にスタート。健脚を競いました。



▶一月三日、久礼田体育会ミックス駅伝が開かれ十四チーム約八十人が参加。市内外から有力選手が参加したとあってハイレベルなレースに。なかなかの好記録が繰り出されました。駅伝終了後は、地域の女性らの手料理で、交流会も開かれました。



▲一月四日、香南清掃組合で焼却炉の火入れ式が行われました。周辺地域の方々や職員の見守るなか、地域代表の佐光和夫さん、大町市長、上村南国市助役が点火スイッチを押しました。



◀1月7日、市保健福祉センターを会場に「こどもを健全に育てるために勉強する会(小笹尚宏代表)」の結成記念講演が行われました。「心育ての子育て」と題した津田敬さん(県立西南病院小児科部長)の話に、参加者は聞き入っていました。



▶1月6日、大笹小のグラウンドで南国市消防入隊式・出初め式が消防署、消防団、婦人防火クラブや結成されたばかりの女性消防団の参加で行われました。出初め式では警員・団員の服装や装備の点検のあと模範演技を行いました。



▶1月15日、ホリデイホールに450人ほどが参加して成人式が行われました。式では大町市長が「市民として誇りを持ち、伝統を守ってほしい」とあいさつ。参加者は決意を新たにしました。また、会場前では20歳に誓う交通安全の呼びかけが行われました。